

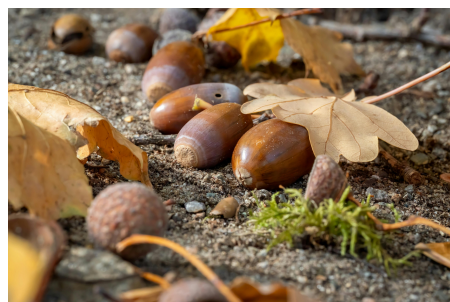


目標・希望・友達

令和7年11月13日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

11月も中旬となり、木々の紅葉も色鮮やかになってきました。1年生は生活科の学習の一環として、こども園や保育園の園児さんたちを招いての行事を計画しており、ドングリなどの木の実を集めて準備を進めています。学校の敷地内にはドングリのなる木がないため（クリの木はあるのですが）、子供たちに協力してもらい、材料を集めています。

いよいよ今度の日曜、11月16日は女の都小学校創立50周年記念式典及びブルーフェスティバルです。ブルーフェスティバルでは、子供たちの学習の成果を発表します。ぜひご参観をお願いします。



学力調査分析③

5年生の学力テストは、長崎県独自で実施しています。したがって、県や市の平均と比較して分析します。

○ 5年生国語科

平均正答率は長崎市、長崎県を上回っています。特に「書くこと」の領域では、長崎県の平均を大きく上回っています。問題形式が「記述」の場合の正答率も高くなっており、要点をとらえて書くという力が身につけていると考えられます。

一方、今後さらに伸ばしていきたい領域は「話すこと・聞くこと」です。県や市の平均を上回っているものの、他の領域と比較すると重点的に指導したいところです。3・4年生にも同じ傾向が見られます。

○ 5年生算数科

平均正答率は長崎市、長崎県を上回っています。どの領域も同じくらい県の平均を上回っており、学級全体としては特別苦手な領域は見られません。一人一人の課題を克服することで、全体的な学力の向上を目指します。

ただし、問題形式別の正答率を見ると、選択式や短答式の問題は高いのですが、記述式の解答は県の平均より低くなっています。論理的に考え、文章で的確に表現するためには、学習内容を十分理解していなければいけません。「なぜそうなるのか」「どのように考えればいいのか」と主体的に学習課題に向かう態度を育てていきたいと思っています。

小学校音楽会

11月11日（火）ベネックス長崎ブリックホールにて4年生の子供たちが長崎市小学校音楽会に参加してきました。発表したのは、「君をのせて」の合奏です。

4年生の子供たちは2学期になると本格的に練習を始めました。それぞれの担当する楽器を決めたら、まずはパート練習。朝4年生の子供たちが登校してくると、楽器の音が聞こえ始めました。はじめはばらばらだった楽器の音が、担任の指導と子供たちの熱心な取組の成果で、次第に合奏というまとまりが生まれてきました。

11月5日（水）には、「小音会がんばってね会」を行いました。この時に披露してくれた演奏はすばらしく、体育館中に拍手が鳴り響きました。5年生が考えてくれた楽しい「激励の言葉」も4年生の子供たちひとりひとりにしっかり届いたと思います。

いよいよ小音会本番。女の都小は1日目の午前の部でした。出番は8番目ということでしばらく他校の演奏や歌を聴きました。そして女の都小学校の出番になりました。ステージ上で堂々と入場する子供たちは頼もしく見えました。担任の先生の指揮のもと行った本番の演奏では、練習を重ねて身に付けた技術やみんなで息を合わせようという思いが十分に表れた演奏だったと思います。すばらしい演奏を披露してくれました。

